

# JLC 第 89 回研究発表会

2022 年 5 月 21 日 (土) 14:00 - 15:00  
日本近代文学館 + ZOOM ハイブリッド形式

2 年半ぶりの現地開催  
皆さんの笑顔をご覧ください



こちらは ZOOM 側の皆さん



## JLC 第 89 回研究発表会

研究発表 1 田中洋一郎会員

シルクロード旅行の思い出



今日は私の若いころ、もう 40 年前の旅行についてお話しします。最初に何故、私がシルクロードに興味を持ったのかを説明します。

◆何故シルクロードなのか？

✓世界史：

・聞いたことが無い名前：崑崙山脈、天山山脈、天山南路、天山北路、祁連山脈、河西回廊、ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠・カラホト、ロプノール（さまよえる湖）

・国名：バーミヤン王国、敦煌王国、楼蘭王国、于闐王国、亀茲王国、ガンダーラ王国、キルギスタン、ウズベクスタン、トルクメニスタン、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン

◆井上 靖：西域物語

◆祖父（仏教僧）：青年期（大正時代）にインド、パキスタンを放浪  
祖母が私をけしかけた

何度か西域諸国をバックパッキング旅行しましたが、一番思い出の多い第 2 回（ガンダーラ）旅行の話をします。旅行ルートは下記の通りです。

## シルクロード旅行の思い出

◆第 2 回（ガンダーラ）ルート

羽田⇒イスラマバード⇒ギルギット⇒タキシラ⇒  
パシャワール⇒カイバル峠⇒ジャララバード⇒イスラマバード⇒羽田



イスラマバード



ギルギット



タキシラ



パシャワール



ヒマラヤ越え



ジャララバード



カイバル峠

最初の訪問地はイスラマバードです、パキスタンの首都で旧都のラウルピンディが狭くなったので、すぐ隣に首都として構築しました、名実共にパキスタンの表玄関です。

## シルクロード旅行の思い出



### ◆イスラマバード



次にギルギットを訪ねました、ギルギットはガンダーラ地方の北にあり、ヒマラヤ登山の玄関口です。小さな町ですが世界中のクライマーが集まる国際都市です。少し歩くと素晴らしいヒマラヤの遠景を楽しむことができます。

## シルクロード旅行の思い出



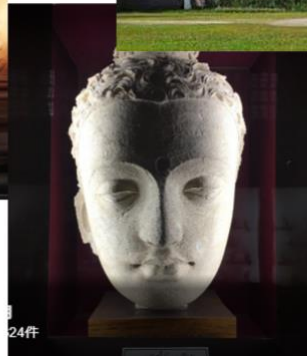
### ◆ギルギット



次にガンダーラ文化の中心地であるタキシラに行きました。タキシラ美術館にはガンダーラの至宝と言われる仏様が多数あります、特に苦行釈迦像は壮絶感すら感じ、「これは絶対見に行かねば！」とっていました、期待に違わぬ迫力あるお姿でした。

## シルクロード旅行の思い出

### ◆タキシラ（ガンダーラ）



次にペシャワールへ行きました。アフガニスタンの国境近くにある大きな商業都市です。町全体が大きなスーク（市場）で昔ながらの人々の生活用品から金銀加工品、宝石の類まで売っており、一日中歩き回っても飽きることはありません。

## シルクロード旅行の思い出

### ◆ペシャワール



ペシャワールの次はカイバル峠を超えていよいよアフガニスタン入りです。

何故アフガニスタンに行くかという、前年にそこで面白い遺跡が発見されたとのニュースが報道されたからです。

## シルクロード旅行の思い出



### ◆カイバル峠



アフガニスタンに少し入ったところにジャララバードという遺跡があります。ここは三蔵玄奘の“大唐西域記”にも登場する仏教王国で、ギリシャの影響が濃い写実的な仏像が発見されています。

## シルクロード旅行の思い出



### ◆ジャララバード



前年にジャララバード遺跡でヒンドゥ教像、釈迦三尊像および翼のあるヘラクレス像が同じ遺跡から発見されたとのこと。このニュースに接し、私は「是が非でも見にゆかねばならぬ！」と決心したのです。

ジャララバードは今回の旅行の目玉です。いよいよ今まで見たことがない翼をもった仏様と対面の時が近づいたのです。時は1979年のクリスマス、**「今年は生涯忘れぬクリスマスを迎えることは間違いなし」**です。

ところが国境が近づくにつれ様子がおかしいことに気づきました、国境近くに多くの軍用ヘリコプターが飛び回り、国境警備隊の兵士も緊張しています。

そうです、当日はソ連がアフガニスタンに侵攻した、まさにその日にその場所に居合わせてしまったのです。

別の意味で生涯忘れぬクリスマスとなりました。

## シルクロード旅行の思い出



- ◆ソ連のアフガン侵略に遭遇  
1979/12/24  
✓国境閉鎖
  
- ◆目的地変更  
✓Dalla



国境が閉鎖されてしまったので旅行は中止、急遽別の旅行先を考えなければなりません、そこでかねてからヒマラヤのどこかにあるといわれているシャングリラ（パラダイス）伝説のもとと思われる場所を尋ねることにしましたが、そこで生涯忘れぬクリスマスデイを迎えることになりました、その話は別の機会に譲りたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

# JLC 第 89 回研究発表会

研究発表 2 相原悦夫会員



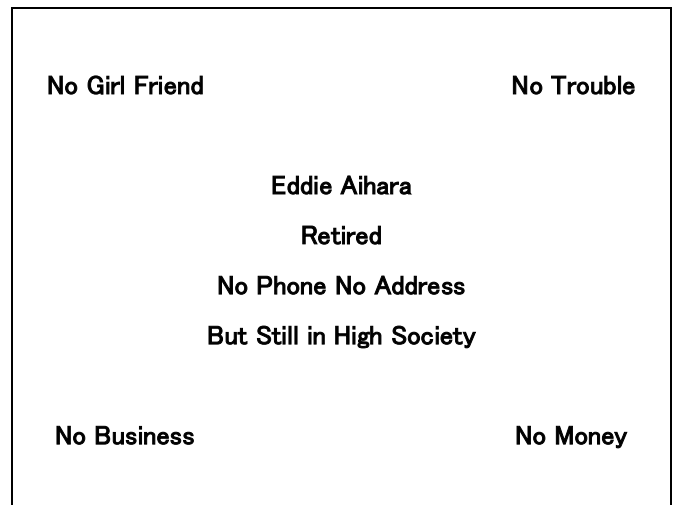
皆さん、こんにちは!! 艶物ジョーク担当の相原です。毎回、皆様の格調高いプレゼンテーションの後で落差が大きいです、暫くの間お付き合いをお願い致します。

「世界で最も薄い本 3 冊。1 冊目はイギリスの料理レシピ集、2 冊目はドイツのジョーク集、3 冊目が謙虚なフランス人のリスト」、「英国で美味しいものを食べたければ朝食を 3 回とれ、ドイツ人はマジメ一本やりでユーモアがない、フランス人は自我が強く謙譲の精神に欠ける」等、偏見との謗りを受けそうですがユーモアの材料に事欠きません。

小生は縁あってイギリスの商社へ入社して欧州の会社との取引が多くありました。まだ駆け出しの頃、イギリスのメーカーから初来日の営業担当のマネージャーがやってきて挨拶に下記のような形式の名刺が出されて驚きました。直ちに自分用の名刺として採用し、その後、初対面のフレキシブルな外国人に大変受けていました。**High Society** という言葉は英国人にはかなりインパクトのある言葉の様ですが小生のような庶民にはピンときません。

実際の名刺は次のようです。上から順に左から右、中を飛ばして左から右、そして名前、上から下となります。

## 1. SELF-INTRODUCTION



次は以前にも紹介した作品ですが小生の好きな紹介テーマの一つです。

## 2. TYPICAL SELF INTRODUCTION

Hi, I'm Paul, but not a **Pope**.

I'm Peter, but not a **Saint**.

I'm John, but not a **Baptist**.

The Girl replied ; Hi, I am Mary, but not a **Virgin**.

Pope : ローマ法王

Saint : Saint Peter (聖ペトロ) Pearly Gates の番人

Baptist : 洗礼者ヨハネ John the Baptist

Mary : メアリー、聖母マリア、キリストの母は聖処女マリア (Blessed Virgin Mary)

次は映倫の要注意ジョークです。

3. A couple made a deal that whoever died first would come back and inform the other of the after-life. Their biggest fear was that there was no heaven. After a long life, the husband was the first to go, and true to his word, he made contact: "Martha, Martha." "Is it you, George?" "Yes, I've come back like we agreed." "What's it like?" "Well, I get up in the morning, I have sex. I have breakfast, I have sex. I sun bathe, then I have sex twice. I have lunch, then

sex pretty much all afternoon. After supper, I have sex until late at night. The next day it starts again.” “Oh, George you truly must be in heaven.” “Not exactly Martha, I'm a rabbit in **サスカチュワン Saskatchewan.**”

天敵の多いアナウサギは生残りの為に発情期をなくして年中生殖行為が可能との事です。

“**サスカチュワン**”とは耳慣れない地名ですが、カナダ中部のサスカトーンにあるサスカチュワン大学の歴史的キャンパスはカナダで最も美しい大学の一つで、釣り、狩猟、等、アウトドア・アドベンチャーで有名な州との事です。

#### (訳文)

ある夫婦は最初に亡くなった方は生き残った方とところにやってきて死後の様子を報告する約束をした。最大の恐れは天国はないということだった、長い人生だったが夫の方が先に召され約束をたがわず彼は報告にやって来た。「マーサ、マーサ」

「あなたなの、ジョージ」

「そうだよ、約束どおりやってきたよ」

「それでどうだったの？」

「そうね、朝起きるとセックスし朝食後セックス。日光を浴びて2回セックスする。昼食してからの午後中セックスする。夕食後も夜遅くまでセックスし翌日も同じく始まる」

「驚いた！あなたは天国にいるのね」

「そうでもないよ、マーサ、私は**サスカチュワン**のウサギなんだよ」

#### 4. DOCTOR'S OFFICE VISIT

They always ask at the doctor's office why you are there, and you say in front of others what's wrong and sometimes it's embarrassing. There's nothing worse than doctor's receptionist who insist you to tell her what is wrong with you in a room full of other participants. I know most of us have experienced this, and I love the way this old guy handled it.

An 86-years-old man walked into a crowded doctor's office waiting room. As he approached the desk, receptionist said, “Yes sir, what are you

seeing the doctor for today?” “There's something wrong with my dick,” he replied. The receptionist became irritated and said, “You shouldn't come into a crowded doctor's office and say things like that!” “Why not? You asked me what was wrong and I told you” he said.

The receptionist replied, “You've obviously caused some embarrassment in this room full of people. You should have said there is something wrong with your ear or something and then discussed the problem further with the doctor in private.” The man replied, “You shouldn't ask people things in a room full of others, if the answer could embarrass anyone.” The man walked out, waited several minutes and then entered.

The receptionist smiled smugly and asked “Yes?” “There's something wrong with my ear,” he stated. The receptionist nodded approvingly and smiled, knowing he had taken her advice. And she asked, “What is wrong with your ear, sir?”

**“I can't piss out of it,”** the man replied.

The waiting room erupted in laughter.

病院では他人のいる前でどこが悪いのか聞かれ戸惑うことがあります。大勢のいる前で病状をつぶさに聞かれることほど嫌なことはありません。こうした経験のある人は多いと思います。この老人の対応の仕方は大好きです。

ある86歳の老人が医院の込み合う待合室に入りました。受付で係が「こんにちは。今日は如何なされましたか？」と聞くと彼は「私の一物が何かおかしいのです」と答えた。受付係はイライラして、「あなたは大勢の人の前でそのような事を言うものではありません！！」「どうして？あなたがどこが悪いのかと言うから答えただけだ」

受付係は「あなたは大勢の人を戸惑わせた。例えば耳がおかしいとか言うようなことを言ってから更に詳しいことを先生に個別に話すべきだった。」

「あなたは答えが人を戸惑わせるような質問を大勢の人のいる前でするべきでなかった。」と言って老人は部屋から出ていき少しして戻ってきた。受付



係は取りすました顔で「どうしましたか？」と聞くと「耳が悪そうです。」 受付係はにっこりうなずいて老人が助言どうりに来たことを喜び「耳のどこが悪いのですか」と聞くと、老人は言った。

「おしっこできないのです」  
待合室は爆笑で埋まった。

### *WE, JOKERS*

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報第 89 号

発行日：2022 年 5 月 21 日

発行人：世話人代表 豊田一男

編集人：小澤正樹

発行元：英語のジョークを楽しむ会

問い合わせ先： [englishjokers@yahoo.co.jp](mailto:englishjokers@yahoo.co.jp)